

作成：令和元年 10 月 18 日

整理番号 00580

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

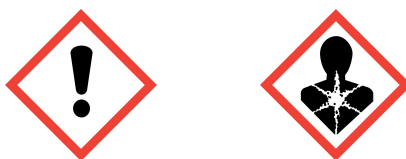
製品名（化学名、商品名等）	Paraffin Oil	パラフィンオイル		
販売者情報	会社	LECO ジャパン合同会社		
	住所	〒105-0014 東京都港区芝 2 丁目 13 番 4 号 住友不動産芝ビル 4 号館		
	担当	SDS 担当者		
	電話番号	(03) 6891-5800	FAX 番号	(03) 6891-5801
製造者情報	会社	LECO Corporation		
	住所	3000 Lakeview St. Joseph, Michigan 49085, U.S.A.		

2. 危険有害性の要約

分類の名称	: GHS 分類
物理化学的危険性	: 分類基準に該当しない
健康に対する有害性	: 急性毒性(吸引：粉塵・ミスト) 区分 4 皮膚腐食性/刺激性 区分 3 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分 2B 生殖細胞変異原性 区分 2 発がん性 区分 1A 特定標的臓器毒性(単回暴露) 区分 2(肺) 特定標的臓器毒性(反復暴露) 区分 1(肺、皮膚) 吸引性呼吸器有害性 区分 1
環境に対する有害性	: 分類できない

ラベル要素

絵表示：



注意喚起語： 危険

危険有害性情報： 吸引すると有害、軽度の皮膚刺激、眼刺激、遺伝子疾患のおそれの疑い
発がんのおそれ、肺の障害のおそれ、長期にわたる又は反復暴露による肺・
皮膚の障害、飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

注意書き

安全対策： 吸引した場合空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸引を避けること。屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。取り扱い後は手を洗うこと。保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。この製品を取り扱うときに飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置： 飲み込んだ場合直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。皮膚刺激が生じた場合医師の手当てを受けること。眼に入った場合水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合医師の手当てを受けること。暴露の懸念がある場合医師の診断を受けること。使用前に取扱説明書を入手すること。

保管： 施錠して保管すること。

廃棄： 内容物/容器を地域/地方/国/国際規則に従って廃棄すること

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別	：	混合物
化学名	：	パラフィンオイル
成分および含有量(wt%)	：	60-100
化学式又は構造式	：	—
官報公示整理番号 化審法	：	対象外
安衛法	：	表示及び通知対象物質 9-168
PRTR 法	：	対象外
C A S No.	：	8012-95-1
国連分類及び国連番号	：	—

*特定の成分、含有量は企業秘密として公表を差し控えています。

4. 応急措置

吸入した場合	：	空気の新鮮な場所へ移動する。症状が悪化したり継続したりする場合は医師に連絡する。
皮膚に付いた場合	：	石けんと水で洗い流す。刺激が強くなったり続く場合には医師の手当てを受ける。
目に入った場合	：	直ちに多量の流水で最低 15 分間眼を洗浄する。コンタクトレンズをしていて容易に取り外せる場合は取り外す。その後も洗浄を続ける

誤飲した場合 こと。ただちに医師の手当てを受ける。
 : 直ちに医師に連絡すること。口をすすぐ。無理に吐かせないこと。

5.火災時の措置

消火剤	水の噴霧、泡消火剤、粉末、ドライケミカル、二酸化炭素
使ってはならない消火剤	消火に水噴射をしない。これは火災を拡散することになる。
火災時の特有の危険有害性	火災の際は健康に有害なガスが生成されることがある。
特有の消火方法	未開封の容器を冷却するために水を噴霧し、危険性が無く実行可能な場合は熱源から遠ざける。
消火を行う者の保護	火災の際は自給式呼吸器および全身保護衣を着用する。
特有の消火方法	通常の消火手順を用いる。影響を受けた他の物質の有害性を考慮する

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	関係者以外の立ち入りを禁止する。十分な換気を確保する。適切な保護具を着用しない限り破損した容器やこぼれた製品に触れない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	熱源から遠ざける。可能な場合こぼれた製品を集め、バーミキュライト、乾燥砂、土等に吸収させて容器に入れる。
環境に対する注意事項	環境への放出を避けること。全ての環境流出に該当する管理または監視要員に通知すること。

7.取扱い及び保管上の注意

安全取扱い注意事項	使用前に取扱説明書を入手すること。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。適切な保護具を着用すること。ダスト/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸引しないこと。目・皮膚・衣服に接触させない。使用後は手を洗うこと。産業衛生に気を配る。
安全な保管条件	熱源から遠ざけ、容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。混触危険物との接触を避けること（SDS10 項参照）

8. 暴露防止措置

許容濃度(暴露限界値) 下記の成分は PEL, TLV またはその他暴露限界値を持つ唯一の成分です。現時点で他の成分には既知の暴露限度はありません。

US. OSHA TableZ-1 Limits for Air contaminants (29 CFR 1910.1000)

物質	タイプ	値	形状
パラフィンオイル (CAS 8012-95-1)	PEL	5 mg/m ³	ミスト

US. ACGIH Threshold Limit Values

物質	タイプ	値	形状
パラフィンオイル (CAS 8012-95-1)	TWA	5 mg/m ³	吸引性粒子

US. NIOSH: Pocket Guide to Chemical Hazards

物質	タイプ	値	形状
パラフィンオイル (CAS 8012-95-1)	STEL	10 mg/m ³	ミスト
	TWA	5 mg/m ³	

生物学的限界値	生物学的暴露限界値は設定されていない。
設備対策	十分に換気する。
保護具	
眼/顔の保護	サイドシールド付き保護メガネまたはゴーグル。
手の保護	適した耐化学薬品性の手袋を着用する。
その他	適切な保護衣を着用する。
呼吸器の保護	換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。
熱的危険性	入手不可
一般的な衛生事項	常に手洗いなど衛生に気を配る。仕事着、保護具類は定期的に洗濯、清掃する。

9. 物理/化学的性質

外観

物質の状態	: 液体
形状	: 液体
色	: 琥珀色
臭い	: なし
融点・凝固点	: 入手不可

沸点・初留点	: 260 °C (推定値)
引火点	: 135 °C (推定値)
燃焼性	: 入手不可
蒸気圧 (mm)	: 入手不可
蒸気密度	: 入手不可
溶解度	: 水に不溶
比重	: 0.85
pH	: 入手不可
n-オクタノール/水分配係数	: 入手不可
自然発火温度	: 260 °C (推定値)
分解温度	: 入手不可
粘度	: 入手不可

10.危険性情報 (安定性及び反応性)

反応性	: 本製品は通常の使用、保管および輸送条件下では安定かつ非反応性である。
安定性	: 通常の条件下で安定。
有害な反応の可能性	: 有害な重合反応は起こらない。
避けるべき条件	: 熱、炎、スパーク
混触危険性	: 強酸化剤。
有害分解生生物	: 刺激性 及び/又は 有害なヒュームやガスが発生する可能性がある。 炭素酸化物

11.有害性情報

起こりうる暴露についての情報	
吸引	吸引すると有害
皮膚	軽度の皮膚刺激
眼	眼刺激
経口	飲み込んで気道に侵入すると有害のおそれ
物理的、化学的、有害性特性に関連した症状	誤飲は肺水腫又は肺炎を引き起こすおそれ
毒物学的影響	
急性毒性	吸引すると有害
皮膚腐食性/刺激性	軽度の皮膚刺激
重篤な眼に対する損傷性/眼刺激性	眼刺激
呼吸器又は皮膚感作性	入手不可

生殖細胞変異原性	遺伝子疾患のおそれの疑い
発がん性	発がんのおそれ
生殖毒性	入手不可
特定標的臓器(単回暴露)	肺の障害のおそれ
特定標的臓器(反復暴露)	長期又は反復暴露により肺・皮膚の障害
吸引性呼吸器有害性	飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

12.環境影響情報

生態毒性	入手不可
残留性/分解性	データなし
生態蓄積性	入手不可
土壌中の移動性	入手不可
その他の有害影響	この製品による環境への悪影響（例えばオゾン層破壊、光化学オゾン生成可能性、内分泌かく乱、地球温暖化の可能性）は考えられていない。

13.廃棄上の注意

廃棄手順	内容物／容器を地域／地方／国／国際規則に従って廃棄すること。
危険廃棄物コード	使用者、生産者及び廃棄物業者間で協議し、廃棄物コードを割り当てること。
残余廃棄物/未使用製品	空の容器は残留物があるおそれがある。本製品と容器は安全な方法で廃棄しなければならない。
汚染容器	空容器はリサイクルまたは廃棄のために承認された廃棄物処理施設に運ばなければならない

14.輸送上の注意

DOT	指定されていない
IATA	指定されていない
IMDG	指定されていない

15.適用法令

労働安全衛生法 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物 別表 9-168

16.その他の情報

参考文献 本製品の英文 SDS(102816) : LECO Corporation
JIS Z7253 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法・ラベル、
作業場内の表示および安全データシート
化学便覧 : 丸善
職場のあんぜんサイト : 厚生労働省
NITE 化学物質総合情報提供システム : 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

作成 : 令和元年 10 月 18 日

- * 記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、必ずしも万全なものではなく、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。製品の取扱いには十分に注意してください。
尚、新たな情報を入手した場合は、追加又は訂正することがあります。